

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [27646] NCC オンコパネルシステム

受託開始日

- 令和元年7月10日(水)



NCCオンコパネルシステム

NCCオンコパネルシステムは、2019年6月1日付けで保険適用を受けた「OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム」を用いて、日本人のがんで多く変異が見られる114の遺伝子変異を次世代シーケンサーを用いて1回の検査で調べることが可能です。

当該検査ではNRG1遺伝子やRHOA遺伝子など日本のがん患者で変異が見られる遺伝子も測定対象となっており、小児がんを含む固形がんに起きている遺伝子の変異を網羅的に調べることで、診断や抗がん剤の選定など治療方針決定に有用な情報を得ることが可能となります。

本検査は、がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療連携病院およびそれに準ずる医療機関として指定を受けている保険医療機関で実施することができます。

検査要項

項目コード	27646
検査項目名	NCCオンコパネルシステム
検体量/保存方法	①未染スライド 5枚(10μm厚)もしくは10枚(5μm厚) / 常温 [容器番号:30番] ②EDTA-2K加血液 2mL / 冷蔵 [容器番号:13番] (①と②を必ず併せてご提出下さい。) ※採血当日に提出できない場合は、全血のまま凍結(-20℃以下)で保存して下さい。
検査方法	次世代シーケンス(NGS)法
基準値	(設定せず)
所要日数	15~25日
検査実施料	56,000点 ・包括的ゲノムプロファイル取得のための本品検査(パネル検査)実施に係る準用技術(パネル検査実施料)8,000点 ・パネル検査の結果の判断及び説明等の実施に係る準用技術(パネル検査判断・説明料)48,000点 ※算定留意事項に関する詳細情報は、下記をご参照下さい。 http://www.hospital.or.jp/pdf/14_20190531_03.pdf
検査判断料	確認中(算定可否につきましては、各医療機関から厚生局にお問い合わせ下さい。)
検査委託先	株式会社理研ジェネシス
備考	【検体提出時の留意事項】 ・ご依頼の際は、「NCCオンコパネルシステム依頼書」をご利用下さい。なお、本検査ご依頼の際は、核酸抽出NCCオンコパネル(項目コード:27645)を併せてご依頼下さい。 ・検体2種類(未染スライドとEDTA-2K加血液)と専用依頼書およびC-CAT IDリストを併せてご提出下さい。 ・依頼書に記入漏れがないことをご確認下さい。 (検査受託における患者同意確認の有無等、患者識別IDおよび検体識別IDの記入) ・同種造血幹細胞移植歴または臓器移植歴のある方は本検査をお預かりできません。 ・受付曜日:月~金曜日(休祝日とその前日は不可) ・本検査では腫瘍細胞含有率情報が必要となりますので、必ず腫瘍細胞含有率を記入して下さい。(腫瘍細胞含有率は20%以上が推奨されています。) ・腫瘍細胞含有率が20%未満の場合は、マクロダイセクション実施のボックスにチェックを入れ、全ての未染標本スライドの裏面から腫瘍部をマークしてご提出下さい。 ・ご提出のスライドは、組織採取後、3年以内のものが推奨されています。(固定は10%中性緩衝ホルマリン溶液で48時間以内を推奨) ・1スライドあたり16mm ² 程度の組織をご提出下さい。 ・組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不可能となることがありますので、あらかじめご了承下さい。 ・コンタミネーションの防止 切片作成時に別の患者由来FFPEとのコンタミネーションを避けるため、以下の操作を行って下さい。 *検体ごとに毎回新たなマイクロームブレードを使用して下さい。 *ウォーターバスは検体ごとに毎回洗浄して下さい。 *手袋は頻繁に交換して下さい。

*NCCオンコパネル検査受託に際しましては、OncoGuideポータルサイトの契約など事前の手続きが必要となります。弊社担当者から改めてご説明いたします。

参考文献

Kato M, et al.: Genome Med 10: 44, 2018.

Tanabe Y, et al.: Molecular Cancer 15: 73, 2016.